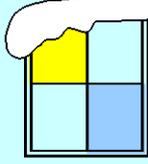
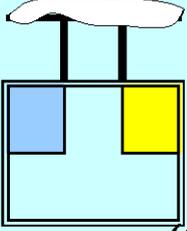


にし まち



立春号



まちづくりセンター

“ご存知ですか？”

まちづくりセンターでは、町内会を始めとする地域のみなさんと連携しながら、さまざまなまちづくり活動を推進しており、地域課題の解決やコミュニティの活性化、ネットワークづくりに向けた取り組みをお手伝いしています。

第3回目のテーマは『さっぽろの冬を大いに満喫しよう』です。

サロン同士で合同交流会！



1月12日(水)、西町まちづくりセンターで高齢者が集うサロン同士の交流会が開催されました。

交流したのは、西町地区福祉のまち推進センターが運営する、男性高齢者向けのサロン「男和(だんわ)の会」と女性高齢者向けのサロン「美和(みわ)の会」の面々。以前から「たまには一緒に」という声があったため、新年1回目の活動を両サロンの交流会として開催し、男性16人と女性14人が参加しました。

初めに、参加者らは男女混合の6チームに分かれてゲームでの得点を競いました。風船をうちわであおいで運ぶゲームや、スロットボール、輪投げが行われ、童心に返ったように歓声を上げたり、同じチームの仲間の結果に一喜一憂する姿がありました。

ゲームの後にはフォークダンスが行われました。顔をほころばせながら男女手を取り合って踊るものの、自分たちのダンスのぎこちなさについ吹き出してしまう人が多く、交流会は終始和やかな雰囲気で行われました。

【まちセン所長からの一言】

フォークダンスをしている男性陣の照れくさそうな笑顔が印象的でした。

『障がいを理解する研修会』が開催されました

2月4日(金)、西町まちづくりセンターで「障がいを理解する研修会」が開かれました。

この会は、西町地区社会福祉協議会が、住みよい地域社会づくりに少しでも役立てたいと、札幌太田病院の協力を得て実現させたものです。

》》》》 全体研修会

「老人性認知症」「思春期症」「心の障がい(統合失調症など)」をテーマにお話があり、聴講者からは「カウンセリングはなぜ閉ざされた狭い空間で行うのか？」などの質問もあがっていました。

講師の方からの「障がいに対する偏見をなくしていけば、対応の仕方も変わってきます。」という言葉が印象的でした。



》》》》 「緊急連絡カード」実践報告会

緊急連絡カードとは、ひとり暮らしの高齢者などが、自宅において何か困りごとがあったり、緊急時にどこへ連絡をして良いかわからなくなった時などに利用するものです。このカードには、かかりつけの病院、民生委員等の連絡先、身内等の緊急連絡先などが掲載されます。

報告会では、カードを配布するにあたっての周知方法(町内回覧など)や、対象世帯の要件(対象年齢等)などについて紹介され、今後の課題などについての意見が交わされました。

緊急連絡カード 保存版
電話のそばに置きましょう!

救急・火事 119番
警察 110番
携帯電話からそのままかけられます。

● あなたの名前、住所、電話番号を記入してください。

氏名	住所	電話番号
かかりつけ病院	電話番号	備考

● 家族・友人などの緊急連絡先

氏名	続柄	住所	電話番号

● 身近なことで困りごとがありましたら、お気軽に連絡ください。

担当	名前	電話番号	備考
民生委員			
町内会福祉部			

町内会
協力 札幌市西町社会福祉協議会

地域の有志が雪像制作隊を激励

2月7日から開催される「第62回さっぽろ雪まつり」の雪像制作に携わっている隊員をねぎらうため、1月19日(水)自衛隊協力会西町分会・西野分会・山の手分会が合同で大通8丁目の会場に出向きました。

そこで、雪像制作作業で冷えた体が少しでも温まるようにと、慰問品としてカップ麺を差し入れました。



陸上自衛隊第11旅団第18普通科連隊が担当する大雪像は、「国宝 本願寺 飛雲閣」です。

昭和26年に国宝に指定され、金閣・銀閣と並んで京都三名閣とよばれる建造物です。ところが、通常は非公開で直接拝観する機会は年に数回しかない、たいへん貴重な国宝です。その全容が今回、ほぼ実物大の大きさと再現されるのです。